



今月の話題：年明けと共にサーツも新年度を迎えるが、昨暮から世の中が騒然とした空気に覆われているようだ。安倍首相、小池都知事の政治姿勢のみならず、国際的にも米英の大統領、首相が際立った改革を唱えている。人工知能が人間を越えるというシンギュラリティが囲碁、将棋の世界で姿を見せてきた。我々は今まさに、世の転換期に遭遇しているのかもしれない。大きく眼を見開いて状況を見定めねばならない。(伊藤誠三)

□ 本部便り：(金森捷三郎 記)

・平成 29 年度総会が 2 月 22 日 (水) 15:00～、於：東京大学山上会館 記念講演は 16:00 より小畑晴治氏による「モダニズム建築の脆弱さ — ヤブニラミ批判」引き続き懇親会があります。是非、ご参集ください。

・サーツ総会の資料の提出は 2 月 2 日 (木) 締切りです。

○次回回大理事会：2 月 14 日 (火) 18:00～

□ 建築部会：(岡本 直 記)

・超高齢化社会や人口減少社会の進行により、空家の急増が予測されています。一方で大地震の発生も切迫していると伝えられ、暮らしの安全・安心がどう確保できるか、我々建築士の果たすべき責任はなにかが問われています。そのなかでサーツの役割はなにか、さらには建築部会でできることはなにか、大いに議論し、且つ、できるところから実践の場を増やして行きたいと思えます。

・国土交通省 住宅建築技術高度化・展開推進事業(海外・費用の 1/2 補助)に採択された「モンゴルの建物を対象とした耐震診断等による耐震安全性の向上及び省エネ対策の立案」に関して、現地調査結果を整理し、今年度中に国交省に提出する報告書づくりを進めています(担当 松本年史、安部重孝、岡本 直)

・ソフトウェアハウス委託によるプログラム及びマニュアル和訳修正業務(担当：泉清之)の 2016 年受注分は 10 月中旬から開始し 1 月末期限内に完了しました。

・サーツ寺子屋(担当：小畑晴治)平成 29 年度第 1 回として、2 月 5 日 (日) に「熟年世代のための“住教育”」を考える一としてキーパーズ代表取締役 吉田太一氏を講師に文京学院大学本郷キャンパス S 館 6F にて開催されます。受講料無料。是非、積極的にご参加ください。

・文京区が開催する耐震セミナーが、シビックセンターで 1/26, 27 の両日に亘って開催されました。小鹿さん、和田先生から核心的かつ広い視点で捉えた課題を、一般の方々に分かり易く解説して頂き、会場から熱心な質問も多く、文京区の担当者からも大変感謝されました。多くのサーツ会員の参加もあり、今回のセミナーは、我々建築に関わるものにとっても貴重な機会でした。

・1/26 「切迫する巨大地震—南海トラフ地震と首都直下地震」—(担当講師 小鹿紀英会員)

・1/27 「昨年の世界地震、熊本地震に学ぶ、私たちの住宅、建築の耐震」(担当講師 和田 章代表理事)

・サーツサロンの開催：2 月 1 日 (水) 15 時～

○次回建築部会：2 月 15 日 (水) 17:30～19:00

□ 戸建住宅部会：(阿部市郎 記)

・2017 年の戸建住宅部会活動は時代の変化に対応した技術課題の取り組みと共に、個別ホームビルダー等の技術

支援活動も具体的に推進したいと計画しています。尚、「CLT 建築物遮音性能開発並びにマニュアル作成」が平成 28 年度補正予算林野庁委託事業に採択されましたので、皆様のご協力を得て具体的な作業を開始いたします。

○次回部会予定：2 月 2 日 (木) 18:00～20:00

ショートスピーチ：「私のアイデンティティ救世軍

the salvation army」発表者：阿部市郎

*現在 日本救世軍関係の施設の耐震診断、会館新築計画等が進展していますので、この機会に救世軍の活動・施設等について解説します。

□ 集合住宅部会：(小畑晴治 記)

・昨年は、第 2 稲毛ハイツの「団地の再生を、改修で行うか、建替で行うか」の勉強会にがっちり付き合い、こういう問題を丁寧に管理組合内で勉強し、意思疎通しようとする住民意識の高さに圧倒された感があります。しかし、世の中の事態は、景気の低迷が続き閉塞感が高まってきています。1 月 28 日発行の週間東洋経済では、『持ち家が危ない—マイホームが負資産になる!』というタイトルの特集が生まれ、サブタイトルは、「自宅が売れない! 団塊の悲鳴!」”ジャングル化する郊外住宅地”となっているのです。こういう状況に、国交省も危機感をもっており「熟年世代のための住教育」に力を入れる必要があると考え、そういう業務の委託を行うに至っています。小生の財団がプロポーザルで受託しましたが、サーツの郊外分譲団地支援と共通のテーマであることから、寺子屋サーツでの講演会を行うことになりました。こういう大事な問題に、自分のこととしてしっかり想いを巡らせないのは、熟年男性の怠慢以外のなにもものでもない! と、発注元の幹部が憤慨されているとのこと。

心あたりの方は、是非、週間東洋経済の特集号を読んで、2 月 5 日 (日) 14:00～16:00 文教大学での寺子屋サーツの講演会にご参加下さい!

○次回部会予定：2 月 9 日 (木) 18:00～

□ マンション管理組合支援事業部：(丸山和郎 記)

・1 月度、受託案件進捗状況

1) 今期受託契約済 2 件(豊玉北、東久留米市)大森、清瀬、柏)(報告済)。

2) 今上半期、受託予定 2 件進行中(大森、柏市)

○次回部会予定：2 月 9 日 (木) 16:00～18:00

定例の部会議事のほか、企画 WG 会議からの依頼案件への議事もあります。皆さん振るってご参加ください。

□ 建築技術誌 2 月号 (1 月 17 日発売) 掲載記事

・小須田廣利：「戦災変電所の保存」

・大場明夫：「歴史的建築物視察旅行—山形—

□ 余滴：熊本城垣崩落落笛 捷三郎